

ABOBA三重奏団

平成4年にビオラの畑野峻の呼びかけにより、当時勤めていた朝日放送の技術職仲間を集めて四重奏団を結成。団名の由来はその時のメンバーの血液型による。編成は結成当初からフルート、バイオリン、ビオラ、チェロの4人編成を守ってきたが、その後、一部メンバーの交代やフルートの松岡信藏の急逝等があり、最近ではフルート四重奏団にこだわらず、弦楽三重奏団として活動することもある。デビュー以来、箕島でのコンサートを20年間休まず続け、その後は場所をきびドームに移して活動を続けている。

演奏スタイルは音楽の原点ともいべき楽しい演奏と親しみやすい選曲を旨とし、またプログラムにはかならず独自のアレンジによる日本の懐かしい曲を組み込むことを特徴としている。

高瀬真理(バイオリン) Makoto Takase



(故)長谷川孝一、高瀬乙慈、亀田美佐子、(故)鈴木鎮一の諸氏に師事。大阪音楽大学付属高等学校卒業後、ウィーン音楽院へ留学、トーマス・クリスティアン教授のマスタークラスへ入学。在学中、オーストリア国営放送にたびたび出演。昭和59年、同校を最優秀で卒業。帰国後、大阪フィルハーモニー交響楽団との共演をはじめ、ヨーロッパやアメリカでのコンサートなど、ソロから室内楽、オーケストラまで幅広く活躍中。

畑野 峻(ビオラ) Takashi Hatano



北京で生まれ、下関で育つ。中学3年からバイオリンを坂田哲夫氏に師事。昭和37年、山口県立下関西高等学校を卒業、京都大学工学部電気工学科に入学。同大学交響楽団でバイオリンを弾く。昭和41年、京大卒業、大阪の放送局に入社。あらためてバイオリンを高瀬乙慈氏に師事。本業のあいまを縫って大阪バロック室内楽団、ピエール・フィルハーモニック、関西フィル等でビオラを弾く。平成4年、ABOBA四重奏団を結成。平成16年放送局を退職しフリーとなる。

若松さより(チェロ) Sayori Wakamatsu



東京芸術大学・音楽学部・附属音楽高等学校を経て、東京芸術大学・音楽学部・器楽科チェロ専攻を卒業。

ニース夏期国際音楽アカデミー、ルスツ音楽祭でソロの講習を受講、また室内楽を京都フランス音楽アカデミー、デュオハヤシ室内楽セミナーを受講し研鑽を積む。

これまでに故・堀江泰氏、故・津田朝子、黒川正三、河野文昭の各氏に師事。

現在は関西の主要オーケストラや室内楽に出演する傍ら、各地のロビーコンサートやサロンコンサート、レストランでのソロ等でも活躍。後進の指導にも力を注いでいる。